



成瀬台中学校だより

令和7年度—第8号—

Tel (042) 728-6030 HP <http://www.machida-tyo.ed.jp/j-narusedai/>

令和7年12月25日発行

学校目標

〔自主〕個性を生かし 自ら学び続ける人間

〔敬愛〕自他を尊重し 思いやりのある人間

〔克己〕困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



情熱(熱い想い)の先にあるもの

校長 福田 秀樹

冬至は過ぎましたが、^{ひので} 日^{さいちび} 出^{あさひ} の最遅日は年を跨ぎます。この時期は出勤で成瀬駅に降り立つ頃、日出時刻と重なります。成瀬台二丁目交差点の手前に朝暈を受け、燃え立つ濃い鮮やかな赤色のサルビアの群れが目^{あさひ} を惹(ひ)きます。赤色のサルビアの花言葉は、「燃え立つ思い」「情熱」です。

アフガンにテロ前庭にサルビア咲く (高澤良一)『随笑』

令和7(2025)年は、昭和100年、戦後80年に当たる年でもありましたが年の瀬も押し迫ってきました。みなさんにとって、どのような1年だったのでしょうか。様々な振り返りの中でも、1年の振り返りは連続する次の年を左右する重要なものです。

12月、特に印象に残ったテレビ放送を紹介します。

12月6日(土)放送のNHK「新プロジェクトX～挑戦者たち～『75万人の命救った用水路～医師・中村哲 希望のアフガニスタン～』」です。有名な番組でもあるので、生徒のみなさんも視聴したかも知れません。

番組の公式サイトには、次のような紹介文が載っています。

【アフガニスタンで75万人の命を救った日本人医師・中村哲。現地に診療所を開いていた中村は、戦乱と干ばつにより作物が取れず病に苦しむ人々を救おうと立ち上がる。「今は、100の診療所よりも一本の用水路だ」と、素人ながら建設事業に挑戦。現地の人々とタッグを組み、次々と緑を取り戻していった。しかし、何者かに襲撃され志半ばで凶弾に倒れる。その遺志はいかに受け継がれたか、執念と奇跡の物語。】

文中の「何者かに襲撃され志半ばで凶弾に倒れる。」とは、令和元(2019)年12月4日に、アフガニスタンの地で何者かに銃撃され死亡したことを指します。今年の命日は、中村哲さんの7回忌に当たります。上記の番組中には、2019年12月7日アフガニスタンのカーブル空港で追悼式典ではガニー大統領(当時)自らが棺を担ぐシーンがあります。中村哲さんが、アフガニスタンという国の中でいかに評価されていたかを象徴しています。

中村哲さんの偉業は語り尽くせませんが、可能であれば番組を観て欲しいと思います。【NHK オンデマンド(有料)では視聴可能】

番組放送後、中村哲さん唯一の自伝『天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い』(2013年初版)が、放送の反響を受けて増刷が決定し、現在 Amazon 本 ボランティア 売れ筋ランキング 1 位になっています。本の表紙には、中村哲さんの言葉「**道で倒れている人がいたら手を差し伸べる—それは普通のことです。**」が載っています。中村医師の生き方を、表す言葉です。その生涯を知れば、医学、土木工学、文学、何でもできるダビンチ的万能の人とも感じます。中村医師を例える言葉は、様々にあります。偉大な小さな巨人。人間というものは、やろうと思えば何でもできるんだよということを教えてくれた先生。どこまでも謙虚で、忍耐強く、弱者にやさしく、責任感強く、勇気があり、心から尊敬できる人です。気温53度に達するアフガンの地で、貧困と飢餓、病に苦しむ人々のために30年以上も土木工事に黙々と取り組む情熱(熱い想い)はどこから湧き出てくるものか。見習わなければならないと改めて強く感じる師走です。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様には今年1年、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様の御支援に心から感謝申し上げます。来年も、どうぞよろしくお願いいたします。

成瀬台中学校 部活動地域連携・地域移行の取組について

現在、本校では部活動の地域連携・地域移行に向けて推進委員会を立ち上げ、町田市教育委員会とも連携し協議を進めております。7月18日(金)付けの地域連携・地域移行に向けたアンケートの回答に御協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果の一部を抜粋してお伝えいたします。

- 1 負担する活動費用は、「1000円～3000円(36.8%)」「3000円～5000円(33.3%)」の割合が多い。
- 2 活動日数として、「週3回(31.3%)」「週4回(22.2%)」の割合が多い。
- 3 指導者の推薦について企業や保護者の方などがあつたが、ごく少数であつた。今後、指導者を確保することが課題である。
- 4 教員が指導することによる、部活動の教育的意義についての御意見をいただいた一方で、生徒の多忙感を軽減することによる、活動の縮小を要望する御意見があつた。

これらの御意見を参考にしつつ、今後も検討を重ねてまいります。来年2月の新入生保護者説明会や3月の保護者会において、方向性についての報告を行う予定です。なお、新体制のスタートを来年度8月をめどに準備を進めております。今後とも御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

教育活動の様子

第2学年 企業訪問



11月27日(木)、2年生は企業訪問を行いました。この訪問を通して、生徒には勤労観・職業観を身に付けることを目的としています。訪問当初は、緊張していましたが、しっかりとした態度で担当の方の話を聞くことができました。企業の方からも、「あいさつや受け答えがしっかりしていて、説明しやすかった。」などお褒めの言葉をいただきました。ここで学んだことを3学期の職場体験につなげる指導を行います。

先輩の姿を見せた 中学校訪問



12月9日(火)に成瀬台小学校、成瀬中央小学校6年生が、中学校訪問で来校しました。はじめは体育館で、生徒会役員から中学校生活の様子の説明を行い、その後授業の様子を見学してもらいました。生徒会役員が準備した動画など、分かりやすく伝えることができました。来年4月、後輩として成瀬台中学校に迎えるにあたり、先輩としての自覚がもてた訪問となりました。

ポプラ学級 4校合同学習発表会



12月5日(金)にひなた村で行われた、4校合同学習発表会にポプラ学級が参加しました。今年の成瀬台中学校は「100万回生きたねこ」を上演し、劇を成功させました。特に、「楽しい」や「悲しい」といった感情表現を上手に表すことができました。ポプラ学級内のチームワークが深まる場面も多くあり、生徒の成長を実感できる行事となりました。

PTA クリスマスコンサート



12月17日(水)にPTA コーラス主催のクリスマスコンサートが行われました。これは毎年行われる行事で、今年も多くの生徒が参加しました。1曲目には、養護教諭もコーラスに参加し、会場は温かい雰囲気になりました。また、3曲目終了時には紙ヒコーキを飛ばす演出があり、聞いていた生徒からも驚きの歓声があがり盛り上がりを見せていました。

1月のおもな予定

日	曜	内容	備考
1	木	元日	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水	冬季休業日終	
8	木	始業式	
9	金	安全指導	SC
10	土		
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	一斉委員会	B時程 SC
14	水	MNE授業公開、イングリッシュフェスタ(2年) 職員会議、2年職場体験事前訪問(午後)	
15	木	中央委員会	
16	金	TGG校外学習(1年)	SC
17	土		
18	日		
19	月	生徒会朝礼、避難訓練	
20	火		SC
21	水	職場体験(2年)始 職員会議	
22	木		
23	金	職場体験(2年)終	SC
24	土		
25	日		
26	月	都立高校推薦入試	
27	火	都立高校推薦入試 学校運営協議会	SC
28	水	中教研発表会(4時間授業)	B時程
29	木	スポーツ交流会(ポプラ学級)	
30	金		SC
31	土		

SC=スクールカウンセラー勤務日

保護者の皆様

本年も本校の教育活動に御理解、御協力いただきましてありがとうございました。来年も、今年以上に生徒の成長につながる教育活動を実践します。

よいお年をお迎えください。